

# File1 森 良介 消防士

平成28年 採用 警防隊 拝命

## 消防士をめざしたきっかけ

小学生の頃、職場体験で消防署を訪れた時に見た職員の姿がとてまかつこよく、消防士になりたいと思うようになりました。人の為になる仕事に就きたいという思いが強くなり、救急救命士の資格が取れる大学へ進学し、幼いころからの夢であった消防士を目指しました。

市川市は私の生まれ育った町であり、市川市民の為に働きたいと思い市川消防を志望しました。



## 消防士になるために。。。

私は消防士になるために、救急救命士の資格がとれる大学へ行き、そこで4年間救急に関する知識や技術などを学び資格を取得しました。

学生時代にはライフセービング部に所属し、消防職員として通用するよう体力づくりを行いました。現在も体力づくりのための筋トレは欠かせません。

## 消防士になってよかったこと

災害現場で、「あなたたちがいてくれて心強いわ、ありがとう」と言っていたときに、市民の方に必要とされ、自分の活動が少しでも人の為になっているのだと感じ、消防士になってよかったと思い、自分の中でのやりがいとなっています。



## 市川市の受験を考えている人へ

市川市は、南部は大型の商業施設や工場地帯があり、北部は自然豊かな景色が広がっていて、また、閑静な住宅街が多く、都心からのアクセスも良いためとても住みやすい市です。

また、救急救命士の資格を持っていても、救急隊だけでなく、警防隊として火災や、救助現場を経験できることも魅力のひとつです。

ぜひ一緒に市川消防で頑張りましょう！！

## 消防士をめざしたきっかけ

やりがいのある仕事がしたいと思っていた時に、テレビに映る火災現場で活動する消防士の姿を目にしました。それから、消防という仕事に興味を持って調べていくうちに、様々な災害がある中で自衛隊や警察官、海上保安官に対応できるものもあるが、火災だけは消防でしか対応できないということを知り、火災のプロフェッショナルの一員になりたいと思いました。



## 市川市を選んだ理由

私は救助隊に憧れを抱きました。特に市川市は特別救助隊だけでなく高度救助隊を配置し、また、国際消防救助隊にも加盟していることから救助隊としてより活動の幅が広くなると感じました。そして市川市は自然豊かな地域、工場地帯や沿岸部、さらには高速道路等さまざまな地域特性があり、災害も多様化していることから、私も救助隊の一員となりあらゆる災害で人命救助に貢献したいと思い市川市を志望しました。



## 消防士になってよかったこと

市民の生命、身体及び財産を守るという崇高な使命と責任を感じながら、熱い気持ちを持った上司、同僚、後輩と共に働ける環境は、常に自分を消防士として、一社会人として成長させることができます。人命救助などの厳しい場面が多い現場では大変なこともあります、市民の方に感謝をされたり、応援していただく声を聞いたときは消防士になってよかったと思います。

## File2 山崎 裕太 消防士

平成27年 採用 北消防署 警防隊拝命  
平成29年 南消防署 特別救助隊拝命



# File3 吉野 航 消防士

平成23年 採用  
平成28年 救急隊拝命

## 消防士を目指したきっかけ

父親が消防職員ということもあり、幼い頃から消防署に連れて行ってもらって消防車両を見ていたため、自然と将来は消防士になりたいと考えるようになりました。学生時代はライフセーバーとして、海辺での事故を未然に防ぐ活動をしていましたが、ある時溺れて心肺停止状態となった遊泳客の救命活動をしたことをきっかけに救命の難しさを知り、救急隊になりたいと心の中で決意しました。



## 消防士になってよかったこと

救急隊は出動件数が多く、市民と接する機会がとても多い仕事です。傷病者を医療機関へ搬送し、傷病者や家族、関係者の方々から「ありがとう」の一言を頂いたときは、素直にうれしさを感じます。また、先輩方から学んだことや培ったことが現場で活かされ、それが最善の処置となり人の役に立ったと思える時にはやりがいを感じます。

## 市川市の魅力

都心に近い市川市ですが、自然と歴史を感じられる魅力ある街で、夏に開催される恒例の花火大会は有名です。また、秋に収穫される大町の梨は甘くておいしいので好きです。

## 消防士になるために

私は幼少期から競泳と水球をしており、現役を引退してからも社会人チームに所属したり、母校や近くのプールに泳ぎに行き、体力維持・向上に努めていました。もちろん消防士になるため試験勉強もしていました。



## 消防士になってよかったこと

私は、採用後3年目に県内に4隊しか無い水難救助隊に配属されました。市川市民48万人を水の事故から守る市内唯一の隊なので、每当直、責任感を持って仕事に取り組んでいます。

救助大会の水上の部に出場し技術を競い合ったり、着衣泳講習で小学校に指導に行くこともあり、良い刺激を受ける機会がたくさんある職場です。

また、水難救助隊は若い職員が多く、技術、体力、知識等で負けたくないと思える存在が近くにいるため、互いに意見をぶつけあったり、試行錯誤しながら訓練に取り組んだりと人生においてプラスになるような様々な経験ができます。



## 市川市の魅力

江戸川河川敷で毎年8月に開催される花火大会が魅力です。屋形船やプレジャーボートに乗って観覧するお客さんが多いため、我々水難救助隊は当日、救命ボートに乗船し水上の安全を守ります。大きなイベントの最前線での活動になるためとても緊張した仕事になります。



## 消防士をめざしたきっかけ

学生の頃、自宅近くの江戸川河川敷をランニングしている際、ウェットスーツを着ている隊員が江戸川で水難訓練を行っているのを度々目にし、市川市には海猿のような水の事故に対して活動する隊があることを知り興味を持ちました。

私は幼い頃から習っていた野球で培った体力や精神力、チームワークを人の為になるように使いたいと思い消防士を目指しました。



File4 安井 徳弘 消防士

平成25年 採用  
平成27年 水難救助隊 拝命